

みなさんと  
力を合わせて  
実現しました!

豪雨災害対策

- 土砂、がれき撤去は公費でできるように
- 5カ所で砂防ダム新設

介護保険の負担

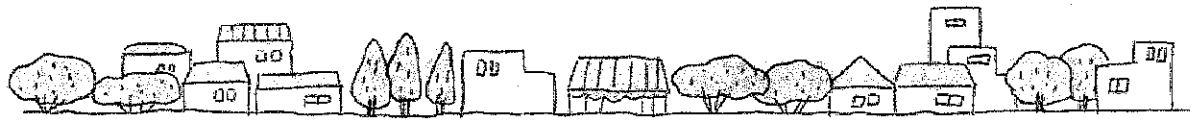
- 介護保険料の値上げをストップさせました

子育て・教育の充実

- 子ども医療費助成が中卒まで拡大しました
- 小・中学校の普通教室にエアコン設置

**日本共産党**

願い実現へ、  
いっそう頑張ります



尾道市のため込み金

**134** 億円!  
お金はおほす!

(2017年度末現在)

- 「財政調整基金」—51億8千万円
- 「地域振興基金」—40億円
- 「国保基金」——13億円 etc.

日本共産党と力を合わせて  
市民のために使わせよう

尾道市は、住民が要望することは「お金がない」と渋りますが、  
けっして「お金がない」ことはありません。何にでも使える「財政  
調整基金」など、市の「ため込み金」は134億円もあります。

ようは、その気になるかどうかです。大切な予算は市民のために!

国保料の引き下げ

- ▼ 国民健康保険料が高すぎます  
1世帯あたり、1万円の引き下げを
- ▼ 介護保険料・利用料に減免制度を
- ▼ 「待機者」600人!  
特別養護老人ホームの増床を

3億円で  
できます



子育てと教育の充実

- ▼ 子ども医療費助成を高校卒業年齢まで拡充を  
——年間5000万円ですみます
- ▼ 「食は教育」——中学校も小学校のような給食を  
義務教育である小・中学校の給食費無料化を
- ▼ 教職員増やし、30人以下学級を全小・中学校で実現を

4.2億円で  
できます

地場産業の応援

- ▼ 住宅・店舗リフォーム制度の実施を  
「経済波及効果」は、助成額の30倍にも!
- ▼ 尾道市独自の農業・漁業支援策をさらに拡充
- ▼ 「しまなみ海道」通行料の助成制度を  
——せめて、平日も休日並!

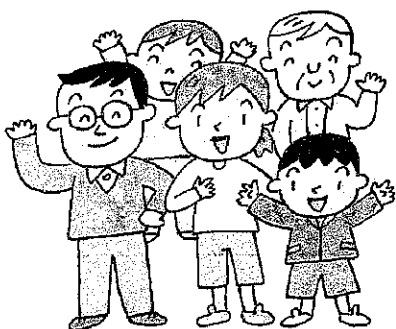


安全・安心のまちづくり

- ▼ 「危険箇所」対策の予算を抜本的に増額
- ▼ 急傾斜地対策事業の「住民負担金」をなくす  
——福山市や三原市、府中市では「住民負担金」はありません

市は「375  
年かかる」と  
答弁!?

住民の声を聞かない市政運営にノー!



- ◎ 住民投票求める声を無視  
公会堂壊し、市庁舎新築
- ◎ 地元住民は大反対!  
場外舟券売り場開設

市民には負担増、くらし・福祉の切り捨てを押し  
つける一方、切実な声や願いには背を向け続けて、  
強行する…。こんな市政をただすどころか、すすめ  
てきたのが保守・公明などです。

まちづくりの主役は住民。日本共産党は、知恵と  
力を集めて、住民合意のまちづくりをめざします。